

村政を問う

一般質問に8人登壇

一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴し事実関係を明かにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

高田 清一 議員

7

- 1 文化・スポーツ活動について
- 2 ふるさと公園活性化について
- 3 住民サービスについて
- 4 ふれあい館について

清水 健一 議員

8

- 1 認知症高齢者のやさしい村づくり
- 2 高齢化社会に向けて

杉井 保夫 議員

9

- 1 地域創生について
- 2 政策（公約含む。）等について
- 3 第6次総合計画について

南 千晴 議員

10

- 1 運転免許証の自主返納制度に対する支援について
- 2 移送サービスについて
- 3 防犯灯のLED化について
- 4 婚活支援について
- 5 職員美化（ボランティア）活動について

松岡 好雄 議員

11

- 1 村長の政治姿勢について
- 2 地域創生事業関連について

小野関武利 議員

12

- 1 繰越明許費について

早坂 通 議員

13

- 1 カーブミラーの点検について
- 2 地方創生事業について
- 3 学校給食費について

松岡 稔 議員

14

- 1 収納対策について
- 2 消防施設消火栓、防火水槽の充実と消防団員の確保について
- 3 直売所について
- 4 子供安全協力の家について

※紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。
会議録の詳細は、榛東村議会のホームページに掲載します。



文化施設建設推進を

図書館建設問題も含め検討中



高田清一 議員

文化協会各団体への支援体制は

問 行政としての具体的な支援体制をどう考えていますか。

答 生涯学習課長 施設面、財政面も考慮し、効果的な芸術振興を推進していきます。

問 財政的な支援のみならず職員も含め協力を意識する必要がありますか。

答 生涯学習課長 課長会議を通じて職員に周知徹底していきます。

問 村内各字に太々神楽及び獅子舞

問 の伝統芸能団体がありますが、支援体制はどのようになっていますか。

答 生涯学習課長 7団体「31万5000円」の補助をします。

問 2カ年で主にサッカー場に必要な箇所に設置予定になっていますか。

答 生涯学習課長 平成28・29年度

問 文化施設建設はどう考えていますか。

答 村長 中央公民館老朽化対策も含め、図書館建設問題も取り入れながら検討しているところです。

問 ふるさと公園 活性化は

答 産業振興課長 村として事業展開の改善策、その他事業が円滑に継続できるようアドバイスしていきます。

問 住民サービスは

答 総務課長 人口規模、職員数、経費などを勘案して玄関近くに総合案内板を設置し、住民生活課及び会計課の窓口職員が来庁者に対応することとしています。

問 ふれあい館対策は

答 子育て・長寿支援課長 営業時間の見直しは来館者数を時間帯毎に調査して、極力影響が少ない範囲で実施しています。



芸能発表会

問 産業振興課長 検討しますか。

答 今後オンラインの回答が主流になると思われます。こういったやり方がいいのかを検討していきます。

問 子育て・長寿支援課長 意見を

答 産業振興課長 検討します。

問 基地・財政課長 今後オンラインの回答が主流になると思われます。こういったやり方がいいのかを検討していきます。

答 子育て・長寿支援課長 意見を

問 今後公園の活性化につながる改善策を公園活性化委員会や村民、来園者の意見を集約し検討していきます。

答 基地・財政課長 今後オンラインの回答が主流になると思われます。こういったやり方がいいのかを検討していきます。

問 子育て・長寿支援課長 意見を

問 産業振興課長 今後公園の活性化につながる改善策を公園活性化委員会や村民、来園者の意見を集約し検討していきます。

答 基地・財政課長 今後オンラインの回答が主流になると思われます。こういったやり方がいいのかを検討していきます。

問 子育て・長寿支援課長 意見を

問 国勢調査等、インターネットによる対応が必要な場合にオンライン接続可能で指導してくれる窓口設置はできないでしょうか。

答 子育て・長寿支援課長 コスト削減対策として、営業時間短縮を実施していきます。

問 子育て・長寿支援課長 意見を



清水健一 議員

Q 認知症高齢者の対策は

A 認知症サポーターを養成していく

認知症サポーターの人数は

問 村の認知症サポーターは、現在何人いますか。

答 健康・保険課長 認知症のサポーター養成講座は、平成21年度に初めて開催しました。参加者が107名、平成23年度が49名、平成24年度が41名で実施しました。平成25年度以降開催していませんので、実施を検討しているところ

答 子育て・長寿支援課長 本村では、若年認知症の人は、把握していませんが、多分その存在があると思います。対策は、これからの課題と考えています。ただ確かに家族に与える影響、周囲に与える影響等、非常に高齢者の人よりも影響が大きいと考えます。そのあたりを、配慮していかねばならないと考えています。

問 65歳未満の若年認知症の対策

65歳未満の若年認知症の対策

問 徘徊高齢者の早期発見、保護するための対策はどのように行っていますか。

答 子育て・長寿支援課長 平成16年度よりGPSの端末、携帯電話よりやや小さいサイズですが、購入した人に対する助成事業があります。その機材の導入例が初めてありました。しかし、当事者が持ち歩かず効果があつたという経緯があります。高崎市では、靴の中にGPSの発信機を装着させるという報道があります。高崎市の実績を見て導入するか検討したいと考えています。

問 認知症の対策を、今後どのように取り組んでいきますか。

答 村長 国の施策でも平成30年までに認知症の人へのサポートを広げていくという見解もあり、村としても取り組んでいかなくてはならないと考えています。民生委員の方々と相談をして、そのノウハウを聞きながら、全ての村民がサポートするという意識を持ったほうがいいのではないかと考えています。啓発もしていきます。

徘徊高齢者の対策は

エンディング講座の開催を

問 子育ても終わりを自分を見つめ直す世代に、エンディング講座の企画はできますか。

答 健康・保険課長 まだまだ耳なれない事業ですが、来年渋川地区の介護の関係で、講師を招いて講演会を予定しています。役場の職員と民生委員さんに参加をお願いする予定です。それらを

子育ても終わりを自分を見つめ直す世代に、エンディング講座の企画はできますか。



エンディング講座とは

第二の人生を安心して暮らすために自分らしい最期を考え、事前に準備することで、これからの人生をどう充実したものにすることを考えるきっかけづくり。



Q 精米機は防犯カメラに変更でよいか

A 子育て支援と福祉政策に変更した



榎井保夫 議員

地域創生変更事業の進捗状況と問題点は

問 事業変更は精米機の代わりに、人口減少対策事業の予防接種、不妊治療の一部助成及び防犯カメラの設置等に変更した。これでもいいですか。

答 村長 現在の人口減、子育て支援、および福祉政策に変更しました。

問 変更事業の進捗状況はどうなっていますか。

答 基地・財政課長 任意予防接種助成事業は85件で、日程

答 総務課長 本年10月1日に工事を

給食費の減額をする時期は

問 給食費減額の財源となる「ふるさと納税」が1億4600万円と順調であり、なぜ、早期に無料や減額しないのですか。

第6次総合計画の策定は

問 第6次榛東村総合計画策定の進捗状況は、どのようになっていますか。

なっても一般財源で対応できるということでは

防犯カメラの設置状況は

問 村長公約の防犯カメラの設置時期、基数、場所、根拠等、進捗状況はどうなっていますか。

答 総務課長 本年10月1日に工事を

答 村長 来年度に実施する方向

で、課長等に細部指示

答 基地・財政課長 平成25年度から

着手していますが、スケジュールより遅れて

答 学校教育課長 学校老朽化、学校給食の充実から載せたいと思います。

問 中央公民館は、計画の中に入り完了しますか。

答 基地・財政課長 基本設計は、現在行なっていますが、計画に載せる事項だと思います。

問 給食センターはどうですか。

答 基地・財政課長 業の中で、耐震化を考慮項目を設けます。

答 生涯学習課長 検討委員会等の判断を含め、今後検討

問 水道管の耐震化はどうですか。

答 上下水道課長 老朽管の更新事業



村民プールどうするの



南 千晴 議員

Q 運転免許の自主返納に支援を

A 村として考えていく

近隣の自主返納に対する支援の状況は

問 運転に不安を感じ
 じる方などが、
 運転免許証を返納した
 場合、近隣市町村では
 どのような支援を行っ
 ていますか。

答 総務課長 県内
 では18市町村が
 運転免許証の自主返納
 支援事業を実施してい
 ます。運転経歴証明書
 の交付手数料の全額助
 成や住民基本台帳カー
 ドの交付手数料の免
 除、共通バスカードな
 どの支援を行っている

ところがほとんどです。
 村も支援を行う
 べきではないで
 すか。

答 村長 自主返納
 に対する支援は
 考えていかなければな
 りません。しかし、市
 町村だけでなく、県や
 国が制度を奨励してい
 くようなことも必要だ
 と思います。県や国に
 対しての要望と、村と
 しての支援も考えてい
 きます。

移送サービスなどの 新たな交通対策を

問 村ではひとり暮
 らし高齢者など
 を対象に、福祉タク
 シー利用助成制度やバ
 スの回数券の割引を実
 施しています。しかし、
 それだけで十分とは言
 えません。吉岡町では
 ボランティアの協力で
 移送サービスを行って
 います。村でも実施で
 きませんか。

答 子育て・長寿支
 援課長 福祉タ
 クシー券と福祉車両貸
 付事業は、社会福祉協
 議会と共に充実し
 た制度になるよう検討
 を重ねていきます。

村長 村内の交
 通事情を考える
 と充実していかなけれ
 ばならないと思いま
 す。自主返納制度や福
 祉関係を含めて前向き
 に検討していきます。

防犯灯のLED化は

問 村にLEDの防
 犯灯はどのくら
 いありますか。

答 総務課長 LE
 Dは1400基
 のうち1000基です。

答 総務課長 吉岡
 町の実例を参考
 にしますと年間約2
 60万円の電気料の削
 減が見込まれます。

問 村の防犯灯を全
 てLEDにした
 場合、電気料金はどう
 なりますか。

問 費用対効果も含
 めてLED化を
 どのように進めていく
 考えですか。



いい出会いとなりますように
 「であい♡夢プロジェクト」

婚活支援は行わないのか

答 村長 早めに進
 むていく必要が
 あると考えています。
 単独で行う方が良いの
 か、リースで行う方が
 良いのかも含めて、い
 ろいろな方法を検討す
 るよう指示しています。

問 昨年12月にも婚
 活支援の一般質
 問をしました。その時
 に、社会福祉協議会が
 行っている「であい♡
 夢プロジェクト事業」
 の支援や予算もつけな
 ければという答えをい
 いただきました。しかし、
 進んでいません。村は
 どのように考えている
 のですか。

答 村長 子育て支
 援だけでなく、
 それ以前も大事だと思
 います。社会福祉協議
 会の事業へはマイクロ
 バスの支援だけでなく、
 違うものも追加し
 ながらやっていく必要
 もあると考えます。村
 でも柔軟性を持つて考
 えていきたいので、い
 ろいろな取り組みから
 研究させていただきます。

Q 地方創生の事業後退では

A 村民に必要なものに振り替える



松岡好雄 議員

村長の政治姿勢は

問

大井町は糸魚川静岡構造線の西側です。村長配布の説明資料には記載がなく大規模災害協定を結ぶには無防備です。結ぶのであれば、交流している東京葛飾区との災害協定が先ではないですか。世田谷と川場村のような、友好協定も考えられますがどうですか。

答

村長 災害が絶対ないところを選ぶべきとは理解しかねます。葛飾は農業委員会などから盛り上げ

てやっていくので除いたわけではないです。前村長の事業の見直し、検証を6月議会で表明しました。成果や職員の本来業務に支障は無かったですか。

答

村長 職員一人一人の力を発揮して、勤務意欲を向上させるためにも、適正に私はやっています。

問

顧問弁護士以外の弁護士を雇ったと聞いたが本当ですか。米の倉庫は、今の真塩村長がやればもう

問

総合戦略及び人口ビジョンは10月16日に完成したのですか。県内の完成状況も説明してください。

答

基地・財政課長 履行期限は10月16日です。村長選の影響もあり、12月28日に契約変更をしました。10月末までに5市町村が策定済みです。

問

前村長は10月中旬に仕上げて上がった自治体だけでもらえる交付金をもうと説明したし、前地域創生・自然エネルギー

地域創生関連事業は

問

推進室であれば村内のニーズを把握して総合戦略を完成させ、地方創生先行型の上限500万円は確保したと

答

思います。10月16日までに仕上げていれば5000万円がもらえたわけです。事業の見直しで、もらえなかったのですか。

答

基地・財政課長 総合戦略の策定の終了が条件ではなく、他の参考となる先駆性を有する事業を実施する場合にもらえる

と安くいいものが造れるのかという視点で検証すべきではないですか。議員数名で独自調査をしましたが、前の担当の課長に一度も聞かないで処分はあり得ないでしょう。村長というより、人としてど

答

うですか。村長 倉庫の問題ですが、村のためになるか検証し、弁護士との契約をしてやっています。職員へのいじめとかをやった覚えはないです。

問

総合戦略完成の先行型で、県外の農業施策で5000万円もらった町もありです。農業の活性化とブランド化について説明してください。

答

産業振興課長 本村の農業は多種多品目の野菜等を生産しているが、いずれも産地化が図られてない状況にあります。下

答

仁田ネギなどJAと生産振興を行っており、地産化に向けて取り組

問

米を自宅へ持ち帰らせたかと苦情がありました。ふるさと納税でもらった寄付金で倉庫を買って、防犯カメラの予算を新たに取

答

村長 精米機を買わなくてもできるとの検証結果なので、予算を振り替えました。



購入予定だった倉庫

Q 議決なしの予算執行は違法である

A 予算なしの執行はしていない



早坂 通 議員

繰越明許費の目的外 流用はできない

問

繰越明許費については議会議決して繰越しました。しかし、繰越した中で、款と項の流用をしているわけです。2款1項の予算を「第2弾プレミアム商品券発行事業」として、7款1項へ流用したわけです。この予算を執行するには議決が必要ですが、議決をしないで、予算執行をしました。これは違法ではないですか。

答

基地・財政課長
繰越した2款1

項の範囲内で流用しています。ですから、予算がないのに執行したということではありません。

問

繰越明許費は、そう簡単に目的以外のものに使えないのです。いくら議論しても平行線ですから、この定例議会が終わったら、一緒に内閣府へ行って見解を聞きましょ。最後に、款と項は議決事項だということを知っていただけ。

基地・財政課長
繰越した2款1

答

基地・財政課長
款と項は議決事項です。

カーブミラーの点検を

問

見にくいカーブミラーは事故の原因になるので、全村を点検して直す必要があると思いますがどうですか。

答

総務課長 現状は区長、住民のみなさん、交通安全会の方たちに協力していただき可能な限り対応しています。



修正済のカーブミラー

きを早急におこないませ。そして、適切に対応していきます。

明らかに「いじめ」である

問

このように、給食費の誤徴収があることが分かり、いざ調査をしなくてはならない時になって、なぜ、誤徴収を発見した給食センター所長の中島課長を再び総務課に戻したのですか。

答

この人事には二つの目的があるのだと思います。一つは誤徴収を隠蔽しようとしていること。二つ目は、中島課長に対する個人的な感情を村長たるものが行政に持ち込み、「いじめ」をしている。

答

村長 私のほうも、その内容を考慮しながらも、総務課に戻したほうがいいと判断しました。

問

全然答弁になっていません。誤徴収を発見した中島課長に引き続き調査をさせるというのが常套（じょうぐわう）でしょう。なおかつ効率がいいわけです。中島課長を総務課に戻したために、いまだに調査結果が出ていません。普通に考えてもおかし

答

村長 「いじめ」とは考えていません。個人的感情についてありません。

給食費誤徴収の調査結果は

問

学校給食費誤徴収の調査結果について、報告してください。

答

学校教育課長
学校給食費誤徴収の調査結果にあつたものについては、還付や徴収の手続



松岡 稔 議員

Q 債権管理条例の制定を

A 条例などを作るよう指示をしている

消防水利は

問 村には現在消火槽が何基あるのですか。防火水槽が何基設置されていて、そのうち40t級が何基ありますか。

答 総務課長 10月1日現在、消火槽が174基、防火水槽が209基そのうち40t級が126基あります。今年度、民生安定期間により長岡に1基、山子田に1基、新井に1基、広馬場に2基、計5基の防火水槽を新規に建設中です。

膨らむ私債権の回収は

問 26年度の決算が認定され、出納閉鎖から6ヶ月が過ぎようとしています。繰越された、未収金額(私債権)水道料金、学校給食費、村営住宅使用料の収納対策はどのようになっていますか。

答 上下水道課長 滞納整理は、課内で3班編成にて毎月実施しています。これとは別に滞納整理も行っていきます。

問 学校教育課長 戸別訪問を行っています。

答 総務課長 督促状、電話での催告等を中心に行っています。10月からは2人1組の態勢で徴収を行っています。

問 村では債権管理簿や債権現在額



村内に設置の消火栓

報告書を作成していませんか。していなければその理由は。

答 総務課長 私債権並びに公債権はそれぞれの課において管理しております。会計課で行うものは、歳入だとか、実際の徴収した動きは把握しています。全体の各税目などの台帳は設けず、管理をしている状況です。

問 債権管理条例の制定に向けて検討する考えはありますか。

答 村長 次の3月議会に提出するべく、急いでやるよう指示を出しているところでは。

農家に元気が出る対策は

問 県内の農業就業人口が5万人を割り、高齢化で農業をやめる人が多い現状です。村では何か対策がありますか。

答 村長 6次産業に精通した人に出会いました。榛東村だけでなく、吉岡町と一緒にそれに向かっています。

問 産業振興課長 勉強会を開こうと考えています。

答 行政も農家の高齢化、後継者不足さまざまな問題を抱えており、元気の出る施策については十分精査検討していきたいと考えています。